

教育研究業績書

2023年05月25日

所属：日本語日本文学科

資格：講師

氏名：林 貴哉

研究分野	研究内容のキーワード
応用言語学, 在外ベトナム人研究, 日本語教育学	自律学習, エスノグラフィー
学位	最終学歴
博士 (言語文化学)	大阪大学大学院言語文化研究科言語文化専攻博士後期課程修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書、教材		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. リフレクティブ・ダイアログ：学習者オートノミーを育む言語学習アドバイジング	共	2022年3月31日	大阪大学出版会	学習者の自律性を育むための言語学習アドバイジングの実践と研究に関する著作であるReflective Dialogue: Advising in Language Learning (Kato Satoko, Mynard Jo 著) を日本語に翻訳した。本書を日本語に翻訳することを通して、英語教育だけでなく、日本語教育においても学習者オートノミーを育む実践に対して理解が深まることを企図している。応募者は第2章「研究を実践に生かす一実践の中のアドバイジング」の中の「2.1.2 深化—ターニングポイントへの移行」(pp. 133-192)を構成する10の対話の翻訳と全体的な相互チェックを担当した。 監訳：義永美央子，加藤聡子 訳者：安部麻矢，瀬井陽子，林貴哉，久次優子，村上智里
2 学位論文				
1. ベトナム系移住者のモバイル・ライブズとことば：難民としての経験と日本での生活	単	2021年6月30日	大阪大学大学院言語文化研究科博士學位申請論文	多文化共生の課題の一つである「言語（日本語）の問題」を当事者の視点から捉え直すために、難民として来日したベトナム系移住者を対象としたライフストーリー研究を実施した。日本語だけではなく、当事者のモバイル・ライブズ（移動の中にある生活）の中で、複数の言語を渾然一体と使用してきた経験に注目した。言語的な背景が異なる者同士のコミュニケーションの捉え方を示した。
3 学術論文				
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				
学会及び社会における活動等				
年月日	事項			